

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ
当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への
利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究
の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	胃切除後の膵外分泌機能不全に対するリパクレオンの有効性を検討するための研究
研究責任者 (所属科名)	外科 豊田 和宏
本研究の目的・意義	胃切除後障害(胃の切除を行うことにより起こる様々な症状)は、体重減少を引き起こし、身体活動の低下、術後のQOLの低下につながります。術後の体重減少が強い場合、抗癌剤の継続性や、無再発生存率が有意に劣るという報告があり、また、QOL評価においてもスコアが悪いことが報告されています。胃切除後障害の症状の一部は、二次性の膵外分泌機能不全が原因となっていると考えられており、リパクレオンという膵酵素の内服の有用性が期待されています。 本研究では、胃切除後にリパクレオンによる治療を受けた患者さんのデータを集積し、胃切除後の膵外分泌機能不全に対するリパクレオンの有効性を解析することを目的としています。 膵外分泌機能不全による消化吸収不良を改善し、胃癌術後の体重減少を抑制することができれば、胃癌の治療成績向上や術後のQOLの改善に寄与できると考えられます。
研究予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2027年 9月
該当資料・データ	患者基本情報: 年齢、性別、手術日、術式、再建方法、身長、体重、BMI、術後合併症の有無、pStage、術後補助化学療法の有無とそのレジメ等 治療開始前と治療終了時の情報: ・自覚症状に関する項目: 体重、排便回数、下痢の回数 ・血液検査項目: WBC(分類)、Hb、Plt、TP、T.Bil、AST/ALT、γ-GTP、ALP、ChE、TP、Alb、T.Chol、TG、LDH、BUN/Cr、ミネラル、Pre-Albなど ・QOLの評価: PGSAS-37質問票を用いる 安全性、忍容性の評価に関する情報: 服薬遵守率、リパクレオンに関連する有害事象の発生状況とグレードなど

個人情報の取扱い	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。
共同研究機関	東広島医療センターなど計12施設
本研究の資金源 (利益相反)	特になし
お問い合わせ先	広島記念病院 外科 代表:082-292-1271 責任医師:豊田 和宏 東広島医療センター 外科 代表: 082-423-2176 研究代表者:堀田 龍一